

令和4年度

事業報告書

## 5 事業

### (1) 発掘調査受託事業

令和4年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、1,157,680,000円（契約件数25件）であったが、調査の進捗状況等により、最終的な契約額は、1,003,216,183円（契約件数25件）となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,157,680,000円	1,003,216,183円	154,463,817円(減)
契約件数	25件	25件	0件
発掘調査(北部)	5件	5件	0件
発掘調査(中部)	6件	5件	1件(減)
発掘調査(南部)	5件	5件	0件
整理報告	7件	7件	0件
普及啓発	1件	1件	0件
出土品整理	1件	1件	0件
京都学・丹後文化資源	0件	1件	1件(増)

コロナ禍の中、現地調査に係る説明会等の参加者は252名であった。

開催日	遺跡名	備考
7月9日(土)	法貴北古墳群(亀岡市)	現地説明会 参加者62名
10月22日(土)	春日部遺跡(亀岡市)	現地説明会 参加者36名
10月22日(土)	佐屋利遺跡(京丹後市)	現地説明会 参加者80名
10月23日(日)	幾坂東古墳群・幾坂古墳群・カンジョガキ遺跡(京丹後市)	京丹後市周知地区公民館祭 発掘調査出土遺物展示
12月6日(火)	北野台遺跡(綾部市)	豊里小学校5・6年生現地見学 見学者41名
12月7日(水)		地元現地説明会 参加者33名

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
5	法貴北古墳群	亀岡市曾我部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>5号墳：直径8mの円墳で墳丘内列石を有する。石室全長5.3m、玄室長3.5mの無袖式横穴式石室。須恵器杯、台付長頸壺、平瓶などが出土。古墳時代後期築造。</li> <li>20号墳：直径6mの円墳で墳丘内列石を有する。石室全長3.2m、玄室長2.8mの無袖式横穴式石室。須恵器杯蓋や耳環、鉄鏃が出土。古墳時代後期築造。</li> <li>飛鳥時代中頃に築造された墓壇長2.5m、同幅1.2mの木棺墓と時期を特定できない石室長0.9m、同幅0.7mの小石室を検出。</li> </ul>
	法貴古墳群		<ul style="list-style-type: none"> <li>56号墳では、玄室長2.3m、幅1.9mの方形プランを有する横穴式石室を検出。古墳時代後期中葉。</li> </ul>
番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
6	春日部遺跡	亀岡市曾我部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>古墳時代中期の竪穴建物60は、一辺5.5mの方形プランであり、須恵器匙や把手付椀、土師器長頸壺・高杯や大阪湾沿岸で生成された製塩土器が出土。他に古墳時代後期の竪穴建物を2基検出。</li> <li>平安時代の掘立柱建物を3棟検出。</li> </ul>
7	佐屋利遺跡	京丹後市峰山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代末から中世の掘立柱建物や井戸を検出するとともに建物を区画する区画溝を検出。丹後地域では初出の古代末から中世の居館跡。</li> <li>中国製白磁や青磁、滑石製石鍋、北宋銭が出土。</li> </ul>
9	カンジョガキ遺跡	京丹後市大宮町	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄文時代早期末の自然流路を谷部で検出。</li> <li>丘陵鞍部では、時期が特定できない竪穴建物や古墳時代後期の横穴群を検出。</li> </ul>
	堀城跡		<ul style="list-style-type: none"> <li>平野部に突出する丘陵平坦部の中世城郭でピットと堀切の一部を検出。丘陵裾部で古代の遺構を検出。</li> </ul>
17	北野台遺跡	綾部市位田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>真北に主軸をもつ2×5間以上の掘立柱建物を1棟検出。直径0.3mの面取りをした柱根が残存。</li> <li>「和原カ」「息口」「口長」「傳カ」などの墨書土器が出土。</li> <li>弥生時代や平安時代の遺物を含む流路を検出。</li> </ul>
19	立山古墳群	京丹後市弥栄町	<ul style="list-style-type: none"> <li>一辺10mの方墳である14号墳で埋葬施設を2基検出し、鉄刀などが出土。古墳時代後期か？</li> <li>15号墳で埋葬施設を2基検出し、鉄剣などが出土。古墳時代前期か？</li> </ul>
20	女布遺跡	舞鶴市字女布	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世の「百石三升」「…やこを…」などの木簡。</li> </ul>

調査報告集については、各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。

『京都府遺跡調査報告集 第 186 冊』	令和 5 年 2 月 20 日
『京都府遺跡調査報告集 第 187 冊』	令和 5 年 3 月 10 日
『京都府遺跡調査報告集 第 188 冊』	令和 5 年 3 月 25 日
『京都府遺跡調査報告集 第 189 冊』	令和 5 年 3 月 31 日
『京都府遺跡調査報告集 第 190 冊』	令和 5 年 3 月 31 日
『京都府遺跡調査報告集 第 191 冊』	令和 5 年 3 月 31 日
『京都府遺跡調査報告集 第 192 冊』	令和 5 年 3 月 31 日

## (2) 普及啓発事業

令和 4 年度は、当調査研究センター設立 40 周年記念事業の一環として『40 年のあゆみ』を刊行し、当該事業は完了した。また、「埋蔵文化財セミナー」「成果展」「埋蔵文化財リーフレット」「京都の歴史体験講座」「夏休み考古学体験講座」「出土文化財再整理事業」は、京都府教育委員会の委託事業として実施し、機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や例年実施している出前講座・体験授業等のほか、新規事業として兵庫県立考古博物館・大中遺跡公園で実施されている第 30 回大中まつり古代体験フェスティバルに考古学体験ブースを出展した。

一方、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日 2022」関連事業は、コロナ禍のなか 3 年ぶりに実施した。それに合わせて当調査研究センターで考古学講座を実施した。なお、令和 4・5 年度の当該事業事務局を当調査研究センター・公益財団法人向日市埋蔵文化財センター・公益財団法人元興寺文化財研究所の 3 法人が担当し事業運営を行う。また、例年、京都向日町競輪場で開催される「向日市まつり」で実施される考古学体験ブースの運営については、昨年度に引き続き中止となった。

また、職員の資質向上を目途に取り組んでいる共同研究事業は、過去 3 年、コロナ禍のなか、計画通りの資料調査ができなかったが、今年度の 3 件については、完了することができた。

最後に、当調査研究センターでは、学術研究や埋蔵文化財保護の啓発事業として「資料調査」の受入や「資料貸出」「写真掲載依頼」に伴う画像提供を行っている。

### (ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために今年度は 3 回開催した。内容については、次表のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
149	令和4年 9月17日(土)	『近年明らかになった南山城の古墳時代』 ・久津川車塚古墳の発掘調査 城陽市教育委員会文化・スポーツ推進課 浅井 猛宏 ・京田辺市天理山古墳群の発掘調査 京田辺市市民部文化・スポーツ振興課 上野 あさひ ・城陽市小樋尻遺跡の発掘調査 当調査研究センター  小泉 裕司	城陽市 文化パーク城陽 参加者 69 名
150	令和4年 11月23日 (水・祝)	『古墳時代の丹後』 ・この40年の発掘調査で明らかになった 丹後の歴史～三大古墳誕生の背景～ 当調査研究センター 肥後 弘幸 ・網野銚子山古墳の発見とその後の展開 ～丹後郷土誌研究の幕開け～ 京丹後市教育委員会文化財保護課 新谷 勝行 ・丹後三大古墳の時代 花園大学文学部教授 高橋 克壽	京丹後市 アグリセンター 大宮 参加者 80 名
151	令和5年 2月25日(土)	『奈良時代創建の大寺院 井手寺と大安寺』 ・橘氏建立の大寺院 井手寺塔跡の発掘調査 当調査研究センター 福山 博章 ・平城京の大寺院 大安寺の発掘調査 奈良市教育委員会文化財課 埋蔵文化財調査センター 原田 憲二郎 ・橘諸兄と井手寺 京都大学名誉教授 当調査研究センター理事 上原 真人	京都市呉竹文化 センター 参加者 206 名

(イ) 成果展 (京都府教育委員会委託事業)

「発掘された京都の歴史 2022」と題して、当調査研究センター及び各調査機関が実施した令和3年度の発掘調査成果を中心とする成果展と当調査研究センター設立40周年記念誌『京都遺跡さんぽ』で取り上げた遺跡に焦点をあて、パネルや遺物などの展示を行った。

- ・テーマ：「発掘された京都の歴史 2022」
- ・会場：向日市文化資料館 入館者 1,121 名
- ・会期：令和4年8月6日(土)～28日(日) 20日間
  
- ・会場：府立山城郷土資料館 入館者 222 名
- ・会期：令和4年9月6日(火)～19日(月・祝) 13日間
  
- ・会場：府立丹後郷土資料館 入館者 366 名
- ・会期：令和4年9月27日(火)～10月10日(月・祝) 13日間

(ウ) 機関誌

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行した。内容は、資料2のとおり。

第143号	7月刊行	1,500部
第144号	3月刊行	1,500部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット (京都府教育委員会委託事業)

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査成果を発信するリーフレットを年2回発行した。

- ・第11号「竪穴建物」12月発行
  - ・第12号「三十石夢乃通路」3月発行
- 【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

(オ) 京都の歴史体験講座 (京都府教育委員会委託事業)

京都府立京都学・歴彩館、京都府庁2号館1階ロビーを会場として、パネル展示やミニ企画展、ミニ講座を実施した。また、夏休み考古学体験講座として「勾玉をつくろう！」を実施した。

○企画展示「発掘された京都の歴史 2022」

パネル展示

会場 京都府立京都学・歴彩館京都学ラウンジ

期間 令和4年10月1日(土)～10月31日(月) 見学者 524名

ミニ講座

演 題 「発掘された京都の歴史 2022」展を通して見た古代史

講 師 小池 寛

会 場 京都府立京都学・歴彩館小ホール

- ① 10月6日（木）「縄文人の死生観」 参加者 64名
- ② 10月13日（木）「東アジアからみた鸕尾遺跡の九九木簡」  
参加者 57名
- ③ 10月20日（木）「長岡京遷都の背景と完成度」 参加者 78名

○京都府庁2号館ロビー展示

展示名 「京都・古代の瓦をみる」

期 間 令和4年12月19日（月）～23日（金）

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」

第1回 令和4年8月16日（火）午前10時～ 参加者 12名

第2回 令和4年8月16日（火）午後2時～ 参加者 10名

第3回 令和4年8月17日（水）午前10時～ 参加者 6名

第4回 令和4年8月17日（水）午後2時～ 参加者 9名

第5回 令和4年8月18日（木）午前10時～ 参加者 7名

第6回 令和4年8月18日（木）午後2時～ 参加者 8名

総 計 52名

会 場 当調査研究センター研修室

対 象 乙訓管内の小学6年生

※ コロナウイルス感染防止のため、小学6年生に限定した。

(カ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、京都府立図書館、市町村及び府内小・中学校などと連携して、出前講座や発掘調査体験授業を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。

○京都府立図書館・当調査研究センター連携展示

「発掘調査が語る近世「京」のすがた -文化庁移転記念-」

会 場 京都府立図書館 2階ナレッジベース 参加者 812名

期 間 令和5年2月3日（金）～3月15日（水）

当調査研究センター・京都府立図書館連携展示に伴う講演会

「文化庁移転にともなう発掘調査で見た京都のすがた」

講 師 加藤 雄太

会 場 京都府立図書館 3階マルチメディア室 参加者 58名

日 時 令和5年3月4日（土）午後1時30分～午後3時

○向日が丘支援学校社会科授業「自分たちの周りの歴史を知ろう」  
 会 場 向日市文化資料館・当調査研究センター研修室 参加者 14 名  
 日 時 令和 4 年 9 月 29 日（木）午前 10 時 50 分～午後 12 時 15 分

○第 3 向陽小学校第 4 学年「勾玉づくり」  
 会 場 第 3 向陽小学校図工室 参加者 2 クラス 52 名（教員 2 名含）  
 日 時 令和 4 年 10 月 4 日（火）午前 8 時 50 分～午後 12 時 30 分

**(キ) 「関西考古学の日 2022」関連事業**

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟 12 法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日 2022」関連事業として、調査研究センター研修室において京都の考古学や歴史を対象とする『ベテラン職員による考古学講座』を実施した。なお、コロナウイルス感染防止のため、受講人数を制限して募集した。

- ① 9 月 24 日（土）10 時～11 時 30 分 参加者 6 名  
 中川 和哉「旧石器人はどこから来たのか」
- ② 10 月 8 日（土）10 時～11 時 30 分 参加者 14 名  
 高野 陽子「弥生王墓と日本海交易」
- ③ 11 月 5 日（土）10 時～11 時 30 分 参加者 9 名  
 肥後 弘幸「邪馬台国時代の諸国の事情」

**(ク) 「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）**  
 京都向日町競輪場において 11 月中旬の土・日曜日に開催される「向日市まつり」において考古学が体験できるブースを運営する予定であったが、コロナウイルス感染防止のため、イベント自体が中止となった。

**(ケ) 第 30 回大中まつり古代体験フェスティバル出展**

11 月 5 日（土）に兵庫県立考古博物館・大中遺跡公園で実施された第 30 回大中まつり古代体験フェスティバルに「古代の軒丸瓦を作ろう！」と題して、考古学体験ブースを出展した。参加者 73 名

**(コ) 共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同ないし単独で行い、研究テーマに即した資料調査を実施した。次年度以降、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

	申請者	共同研究員	研究テーマ	備考
1	面 将道	中川和哉	瀬戸内技法の流入時期について	共同研究 最終年度

2	加藤 雅士	—	木津川流域における文化的景観の現状調査	個人研究 単年度
3	加藤 雄太	—	中世丹後の土器・陶磁器	個人研究 最終年度

(サ) **出土文化財再整理事業**（京都府教育委員会委託事業）  
出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。  
平安京跡左京一条三坊三町（文化庁移転） 314 箱

(シ) **資料調査受入、資料貸出・写真提供事業**  
当調査研究センターでは、研究者や大学生の論文作成などの学術研究や博物館展示などの啓発事業に係る「資料調査」を受け入れている。また、「資料貸出」や「写真掲載依頼」に伴う写真提供を行っている。

## 6 その他

### (1) 専門研修

9月30日（金）に当調査研究センター増田富士雄理事を講師にお迎えし、地質学的な見地から職員研修を実施した。また、文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加した。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取り組む。

### (2) 一般研修

10月17日（月）に当調査研究センター富永吉喜理事を講師として「共に生む（2）」と題する職員人権研修を実施した。また、人権研修推進委員会が中心となって行う職場研修のほか、京都府教育庁主催の行政研修及び人権問題研修並びに公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加した。一方、向日市消防署で開催された普通救命講習やフルハーネス型安全帯使用作業特別教育を受講した。加えて総務課職員が、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナーにも参加した。

### (3) 遺跡検討会

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む城陽市芝山遺跡について、職員とともに上原真人理事及び城陽市教育委員会浅井猛宏文化財係長のご協力を得て、遺構・遺物の検討を行った。今後、刊行予定の報告書に検討内容を反映させた。

### (4) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣した。また、同志社大学、佛教大学においても講師派遣依頼により職員を派遣した。